

建設水道委員会

市の都市建設部及び水道局の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎久永良一
岡田康弘
津本憲一

○黒見節子
竹内邦彦
津本辰己

今期定例会において、建設水道委員会に付託された議案は、一般会計及び特別会計補正予算5件、条例改正議案15件、その他議案1件の計21件であり、慎重に審議をおこなった。

補正予算の主なものは、国家公務員に準じた職員給与減額などに伴う人件費の調整、8月から9月に起きた集中豪雨による災害復旧に関する予算措置等であった。

条例改正議案15件のうち11件については、平成26年4月から消費

税が8%に改正されることに伴い、使用料、手数料等を改定するため条例改正を行うものであった。その他議案については、神楽尾公園の指定管理者の指定を行うものであり、利用者の拡大に努めるよう要望した。

消費税関連議案の11件については、消費税の増税により、生活に大きく影響することが予想される中、全体経費を削減することで、増税部分が負担とならないよう配慮を行っている他都市もあることから、11議案すべてに反対の意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決とした。その他の議案については、全員一致で可決とした。

また、高専橋の拡幅工事、津山駅周辺整備の現状、城東地区歴史まちづくり計画の見直し、広域水道企業団配分水量の融通について報告があった。

市外視察日程

平成25年11月12日(火)
13日(水)

場所と目的

埼玉県川越市

「重要伝統的建造物群保存地区及び周辺におけるまちづくりについて」

さいたま市大宮発電所

「小水力発電施設について」

川越市では、時の鐘や蔵の町並みなどの歴史・文化を生かした観光スポットを多数整備しており、観光客数が、平成15年度の399万人から平成24年度には623万人を超える状況にある。地域住民と行政が一体となり、重要伝統的建造物群保存地区の景観保存をはじめ、観光拠点施設の整備により、まちの魅力向上に努めた成果といえる。特に、廃業した酒蔵場を活用した施設である「小江戸蔵里」や川越のまつり文化を保存継承及び活用するための「川越まつり会館」の整備は、観光振興に大きく影響している印象で

あった。

さいたま市大宮発電所では、再生可能でクリーンなエネルギーである水力を利用した小水力発電施設を視察した。

市内視察日程

平成25年11月20日

小田中浄水場更新工事、津山南道路整備、井口公園整備、津山駅前周辺整備、荻田酒造、総社川崎線整備、高専橋交差点改良工事の現地確認

